

養成年数に応じた促成アスパラガスの最適掘取り時期

【1 成果の概要】

アスパラガス1年養成株と1.5年株では、5以下の低温の遭遇時間と商品果収量には相関関係があり、根株養成期間に70~90時間程度あてると、目標とする商品茎の重量(100g/株)を得ることができます(北上では11月上旬頃掘り取り)。

一方、2年株では、ほとんど低温にあたらぬ10月下旬頃からの掘り取りでも、同程度の収量を早期に得ることができますが、低温遭遇が150時間程度あたってから(北上市では11月下旬)掘り取ると、急激に収量が増加するため、多収を狙うことも可能です。

【2 効果】

1 アスパラガスの年内どりをを行うにあたって、掘り取り時期決定の目安となり、早期に株を掘り取ったことによる収量・品質の低下を避けられます。

【3 この技術を上手に使うには】

- 1 低温遭遇時間の積算は、根株養成ほ場に最も近いアメダス地点のデータを活用します。
- 2 ここで用いた品種は「ウェルカム」です。他の品種では低温要求量が異なる可能性があります。
- 3 1年株とは、春に定植し秋に掘り取るもの。1.5年株とは、前年秋に定植し、当年秋に掘り取るもの。2年株とは、前年春に定植し、当年秋に掘り取るものを指します。

【4 こんな場面に使います】

促成アスパラガス生産者および指導者が掘り取り時期や栽培適地を決定する場合の目安とします。

【5 メリット】

各地域で掘り取り時期を判断することができ、本県でアスパラガスの12月出荷が安定します。

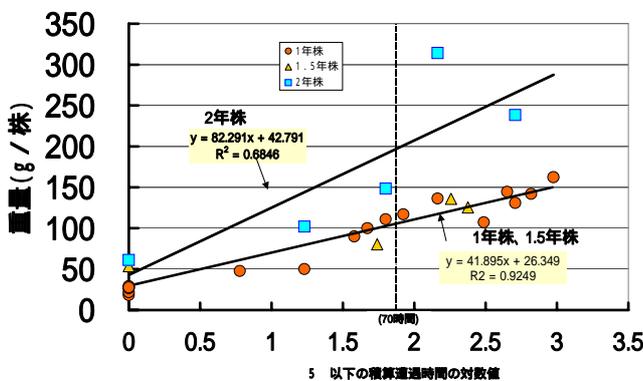


図1 根株の低温遭遇時間と商品茎重量との相関

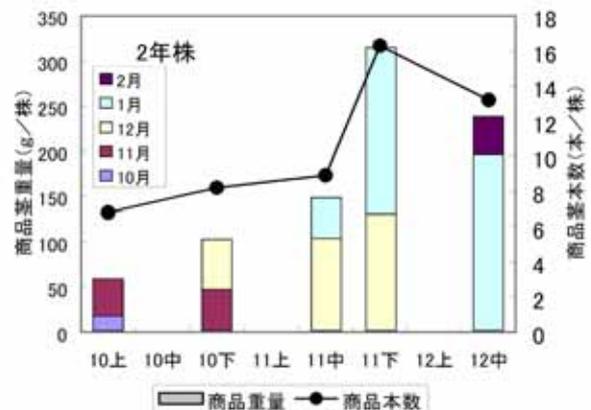


図2 2年株は、掘り取り時期を遅らせて多収を狙うこともできます